



ほっとつと

発行(R7年4月)
 公益社団法人
 高知県看護協会
 保健師職能委員会
 〒780-8066
 高知市朝倉己825-5
 TEL 088-844-0678
 FAX 088-844-0053

第9回 高知県保健師交流大会を開催しました

テーマ「これからの災害に備えて 経験をつなぎ チームワークで乗り越えよう」

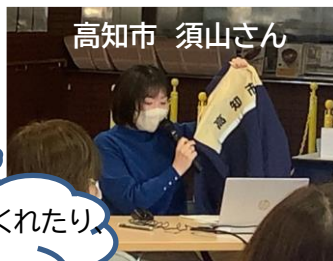
2025年1月25日(土)、67名の保健師、看護学生が参加して、第9回高知県保健師交流大会が開催されました。

最初の話題提供では、まず、香美市健康推進課の福本 夏奈さんから「能登半島地震への応援派遣を振り返って」と題して、初めての被災地応援経験から、次のフェーズを見据えた保健活動、受援体制整備の必要性など、平時からの活動に活かせる経験をお話いただきました。

次に、高知市保険医療課の須山 絢子さんから「被災地派遣と災害時保健活動マニュアル策定を経験して」と題して、これまでの応援派遣経験や策定中の高知市災害時保健活動マニュアルについての発表をいただきました。応援派遣の際の自分や家族の準備、被災地での自分たちの生活など、オフィシャルな場ではなかなか聞くことのできない話や、マニュアルの改定では、様々な部署や人が集まるからこそその苦労話を、須山さんらしい例えを混ぜながらの楽しいお話をしていただきました。

最後に、高知県須崎福祉保健所の島田 千沙さんから「災害時保健活動派遣支援活動の経験から」と題して、6回もの被災地応援経験からのお話をいただきました。それぞれの被災地で起きていた問題、保健活動チームとしての活動内容や応援に行く際の心構え、また、災害時には重要かつ大きな課題になるトイレについてもそれぞれの被災地での状況を踏まえた話を聞くことができました。

その後のワールドカフェでは、まずは経験年数別に分かれたグループでワールドカフェを行い、災害対策だけでなく、人材育成や日頃の訪問活動など、わいわいにぎやかに幅広く情報交換がなされていました。アンケートでは、話題提供は「被災地応援の実際の話が聞けて良かった」「公的な場では聞けないような話が聞けて良かった」「持ち帰って自分のところでも検討したい」、ワールドカフェでは「圏域や世代を超えて交流ができて楽しかった」「共感が多くあり、エンパワメントされた」などの声がたくさんありました。また、実行委員会に参加してみたいと書いてくださった方も複数おりました。次回の開催の際にはそちらへの参加もぜひ!
 (文責 三谷)



防災服をみせてくれたり、
写真もたくさん



わいわいとあっと
いう間の時間



退職される保健師さんからのメッセージ



『感謝の気持ち』

佐川町健康福祉課

横島 由起

大学を卒業後看護師として医療機関で8年（若さにまかせ、忙しくても楽しく、よく働き充実！！）、専門学校の教務を1年経て、平成8年から町の保健師として29年間勤務させていただきました。まさか自分が保健師として働くとは思ってもいなかったので、ご縁やきっかけで人生は「なるようになる」ものですね。（笑）

振り返ってみると、たくさんの地域の方々との出会いは、思い出がたくさんあり私の大事な宝物です。また、大変お世話になったすべての方々への感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！！

保健師のみな様、健康第一で今後のご活躍を期待しています。

4月からは、『まずは1年』、再任用職員としてよろしく願いいたします。



『お世話になりました m(_ _)m』

中土佐町地域包括支援センター

黒岩 淳子

平成4年4月に旧大野見村で初めての保健師になりました。『代わっていかん保健婦さんでね』と住民に声をかけられ、私の役割なんだと感じたことでした。そして、先輩保健師と仕事をして強く印象に残るのは“保健師オーラ”です。凛としているけれど、何でも包み込んでしまう優しさもあって、そのしなやかな強さに憧れ、いつか私もこんな保健師になりたい!!と思いました。今は『高知県保健師人材育成ガイドライン』がありますが、当時は保健所管内の保健師が毎月保健事業の検討等をする場で様々なことを学びました。私は人を育てるのは人だと思えます。学生実習や新任期保健師のプリセプターを通し、人材育成は育てる側も成長させると感じてきました。保健師の仕事は日々変化していますが、これからも高知県の保健師のいいところが継承されていくことを願っています。



『今までありがとうございました』

大月町健康福祉課

押川 麻美

この度、令和6年度をもって退職することとなりました。

みなさまに支えてもらい、大月町の保健師として楽しく仕事をすることができました。

大月町のみなさま、幡多郡、高知県の保健師のみなさまに感謝申し上げます。

この経験を活かして、新しいところでも頑張っていきます。またこれからもお世話になることがあると思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。今までありがとうございました。



『みなさんお世話になりました』

香美市役所健康推進課

宗石 こそゑ

昭和62年4月から高知県駐在保健師として、物部村岡ノ内地区に赴任してから38年の時が流れて退職の日を迎えることになりました。この間地域保健法改正があり、自分は物部村役場に割愛で行く決心をしました。10年後合併があり、香美市職員となりました。

課長もやらせてもらいましたが、保健師は何のために存在しているのかを考え続けた38年だったようにも思います。住民に寄り添うって？ただ優しく話を聞くだけではなくプロとして十分に話を聞いてその人に合った必要な支援を行うことができているのかな。

人材育成はほんとに大変なことです。これからもお互いに語り合い、育て育ちあう保健師の職場風土を大切にしてもらいたいと思います。失敗してもいいから思いっきり保健師として、地域に必要な施策を作り上げてほしいと思います。ありがとうございました。



**あたたかいメッセージ、ありがとうございました。
大変お世話になりました！これからもお元気で。**



高知県看護協会に入会しよう!!



看護協会は看護職の活動を支援する職能団体です。

仕事に取り組む中で、さまざまな場面で立ち止まることも、「もっとよい看護がしたい」という気持ちが胸をよぎることがあるかもしれません。周りを見渡せば、同じ思いの仲間がきっと見つかります。ときには、大勢で知恵をしぼり、時間をかけてじっくり考えるべき課題もあります。そんな時、皆さんとともに解決策を見つける場のひとつが、看護協会です。

看護協会はそんな看護職の皆様と共に看護の質の向上や看護職が働き続けられる環境づくりなどに取り組んでいます。未来に向かって、一緒に歩んでいきましょう。



入会のお申込は
こちらから





高知県
かんごちゃん

看護の日マスコット「かんごちゃん」やカードをご活用の際は
高知県看護協会広報担当
理事 中島 まで

☎088-844-0678

こんなカードもできてます。

保健師人材育成ミーティング ～保健師の経験を成長につなぐ～

令和7年2月11日（火・祝日）、高知県看護協会にて保健師人材育成ミーティングを開催しました。

保健師を取り巻く様々な変化のなか、保健師の人材育成にどう取り組んでいくべきか、どう経験をつないでいくかといったことについて中土佐町と高知市から話題提供していただき、その後意見交換を行いました。

「市町村保健衛生職員協議会ブロック保健師部会における事例検討について」

中土佐町健康福祉課 吉岡美紀さん

保健師の人材育成として事例検討会を実施。事例検討を通して違う視点や考え方を学ぶ場となり、保健師としてのコアの部分を確認する機会となったこと、経験年数や立場を超えていい刺激あふ、学ぶ場となっていることなどを報告してくれました。

「高知市の人材育成の取組」

高知市子ども未来部母子保健課 小管樹里さん

平成31年3月に、高知市保健師人材育成指針を策定。高知市保健師ビジョンを持ち、みんなで育ちあう人材育成に取り組んでいます。所属している母子保健課は新人から超ベテランまで様々な年代がそろっていて人材が豊富。そういった中において、日々のコミュニケーション、強みを見つけて伸ばす、学ぶ姿勢を常に持つことなどを大切にしながら人材育成に取り組んでいることなどを報告してくれました。

お二人の発表後、3グループに分かれて、「今日は、人材を育てるということについて、参加者全員がとことん言いたいことを言って、聞きたいことを聞いて帰ろう！」とグループ毎にベテランから中堅期のそれぞれの立場で、日頃感じることなどを活発に意見交換がなされました。世代を超えて共感しあう姿や笑顔が印象的でした。

現場では日々の業務に追われるなかでの人材育成は難しいですが、今回のミーティングでは、参加者が活発な意見を出し合いながら考えを深めることができたのではないかと思います。来年度もたくさんの方の参加者をお待ちしています！（文責 西内）



編集後記

春が近づくと桜の開花を待ちわび、お花見をしたいと思っていますが、あっという間に桜が散ってしまいます。来年こそはと毎年思っています。

季節を感じながら、たまにはゆっくりと日々を過ごしたいですね。

令和6年度内の発行ができず、申し訳ありません。今後ともよろしく願いいたします。

